三菱自動車、新型『パジェロ』を鳥取砂丘月面実証フィールド「ルナテラス」で走行試験
～月面環境を模した砂地で悪路走破性をさらに強化～

三菱自動車工業株式会社（以下、三菱自動車）は、新型『パジェロ』の開発において、鳥取砂丘月面実証フィールド「ルナテラス」（鳥取県鳥取市）で走行試験を実施しました。宇宙産業向け実証フィールドである同施設を活用し、自動車メーカーが市販車開発のための走行試験を実施するのは初めてとなります。新型『パジェロ』は、月面環境を想定した砂地フィールドでの走行試験を通じて、三菱自動車独自の四輪制御技術を磨き上げ、ドライバーの思い通りの操縦性と優れた悪路走破性を追求しました。

新型『パジェロ』は、さまざまな天候や路面において、誰もが安心・安全かつ快適に、自信をもって運転を楽しめるクロスカントリーSUV を目指して開発しました。砂地はタイヤが空転したり車体が沈み込んだりしやすく、「走る」「曲がる」「止まる」というクルマの基本性能が厳しく問われる環境です。今回の走行試験では、発進、加速、旋回、登降坂といった走行シーンにおいて、駆動力配分や車両運動制御が狙い通りに機能しているか確認しながら最適化を実施しました。これにより、三菱自動車ならではの力強く安心感のある悪路走破性を実現しています。

新型『パジェロ』

従来、砂地での走行試験や車両評価は中東やオーストラリアなど海外の砂漠地帯で実施していましたが、「ルナテラス」の砂地走行試験に適したフィールド環境と、三菱自動車がこれまで砂漠での走行試験を通じて培ってきたノウハウを活用することで、国内での評価を可能にしました。
また、国内の「ルナテラス」を活用することで、試験車両の輸送にかかる期間や費用を削減できるほか、開発と評価のサイクルを短縮し、開発業務の効率化にもつながります。三菱自動車は今後も「ルナテラス」を活用し、新型『パジェロ』をはじめとするオフロード商品群の走りの魅力をさらに高めてまいります。

新型『パジェロ』スペシャルサイト
https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/pajero/special/

以上

鳥取砂丘月面実証フィールド「ルナテラス」について

鳥取砂丘月面実証フィールド「ルナテラス」は、鳥取県鳥取市に位置する、月面環境を模擬した実証フィールドです。鳥取砂丘の砂質と地形環境を活かして鳥取県が整備し、月面探査をはじめとする宇宙に関するさまざまな研究開発の実証の場として活用されています。実際の月面を想定した走行評価などの技術検証が可能であり、国内外の企業・研究者のさまざまな研究開発を支援しています。「ルナテラス」は、多様な実証機会の提供を通じて、鳥取県における宇宙産業の創出と産業振興・地域活性化を目指しています。詳細については、鳥取県のホームページをご覧ください。
https://www.pref.tottori.lg.jp/311792.htm

三菱自動車について

三菱自動車は、ラリー活動で培った四輪制御技術と、長年にわたり蓄積してきた電動車開発の知見を有する自動車メーカーです。ルノー・日産アライアンスの一員として、日本およびアセアン諸国に生産拠点を持ち、グローバルで約 28,000 名の従業員が働いています。プラグインハイブリッド EV の『アウトランダーPHEV』、ピックアップトラック『トライトン』、軽自動車『デリカミニ』など、あらゆる路面状況や使用環境に対応可能な商品ラインアップを通じて、お客様の冒険心を喚起し、心豊かなモビリティライフを提供することを目指しています。三菱自動車は、鍛え上げた四輪制御技術や電動化技術を活かした「三菱自動車らしい」個性的な商品を創出すべく、技術をさらに磨き上げ、真摯にクルマづくりに向き合い、引き続きお客様にワクワクするようなモビリティライフをお届けしてまいります。詳細については、当社ホームページをご覧ください。
https://www.mitsubishi-motors.com/jp/company/information/index.html